

第12回中央区スポーツ協会会長杯 学童野球交流大会特別規則及び注意事項

1 大会特別規則

- (1) トーナメント戦とし、3位決定戦は行わない。
- (2) 各試合とも6回戦とし、1時間30分を過ぎて新しいイニングに入らない。
 - (ア) 決勝戦も同様とする。
 - (イ) 後攻チームが勝っている状況で制限時間に達した場合は、その時の打者の打撃中にその旨を両チームに通告し、この打者が打撃を完了して試合終了とする。
 - (ウ) 暗黒・降雨などで試合続行が不可能な場合は、次のとおりとする。
 - (a) 5回終了または、試合開始から1時間30分を経過した場合は、試合成立とする。但し、同点の場合は決勝のみ再試合とし、それ以外の試合は抽選により勝敗を決する。
 - (b) 5回に満たず試合開始から1時間30分を経過していない場合は、競技者必携の特別継続試合の規定は適用せず、すべて再試合とする。
- (3) 6回を終了または制限時間が過ぎても勝敗が決定しない場合はタイブレーク方式とする。

タイブレーク方式

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち0アウト一塁二塁の状態にして、投手の投球数制限を遵守のうえ、続行する。

 - ① タイブレークは1イニングを行い、勝敗が決しない場合は抽選とする。
 - ② ただし、決勝戦は3イニングを行い、勝敗が決しない場合は抽選とする。

※ 抽選方法は競技者必携248及び249ページによる。指名打者は抽選に加わらない。
- (4) 抽選方法は次のとおりとする。
 - ① 審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーは、投手からポジション順に終了あいさつの状態に整列する。(指名打者は抽選に加わらない)
 - ② 抽選用紙に○印、×印 各9枚記入したものを封筒に入れる。
 - ③ 球審が18枚の封筒を持ち、先攻チームより1枚ずつ交互に選ばせる。
 - ④ 二人の審判員が両チームの監督立会いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。
- (5) 5回終了時点で7点差が生じた場合はコールドゲームとする。ただし、それ以前の大差の場合、両監督による協議のうえ試合を打ち切ることがある。
- (6) 変化球については、競技者必携49ページによる。
- (7) 投手の投球数制限について
 - ① 肘・肩の障害予防のため、1人の投手が1日に投球できるのは70球以内とする。
 - ② 70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで、又は打撃を完了する前に攻守交代になるまで投球できる。投球制限には、タイブレークの投球数を含む。
 - ③ 1度降板した投手は、70球に達するまでその試合やその日の試合に再登板できる。
 - ④ 投手の投球数には牽制球や送球とみなされるものは数えず、実際に打者へ投球した球数とする。
 - ⑤ 4年生以下は1日60球以内とする。
 - ⑥ 同一日に本大会と別の試合を実施するチームは、球数を合算するため大会本部へ申告しなければならない。

2 用具について

- (1) バット
「JSBB マーク」のついた公認のものを使用すること。
(木製は公認制度がないため、亀裂などの破損がないものを使用すること。)
- (2) ヘルメット
「JSBB マーク」と「SG マーク」のついたものを使用すること。(捕手用も含む。)
- (3) 捕手用具
「JSBB マーク」のついたマスク、プロテクター、レガースを使用すること。
(マスクについては、別紙も参照のこと。)
- (4) グラブ
規定は別紙のとおりとする。

3 安全対策

- (1) 素振り用リングは抜ける危険があるので持ち込みを禁止する。(グラウンドに持ち込まない)
- (2) 捕手は危険防止のため、必ずマスク(スロートガード付)・プロテクター・レガース・ヘルメット・ファウルカップを着用すること。(控えの捕手とブルペン捕手も同様とする)
- (3) 打者、次打者、走者及びベースコーチとも両側にイヤラップの付いたヘルメットを着用すること。
- (4) ボールパーソン、バットパーソンもヘルメットを着用すること。
- (5) 試合前のノックの補助員(ノッカーにボールを渡す者)は安全のため必ずヘルメットを着用すること。
- (6) 熱中症予防のため主審の判断で給水タイムをとる場合がある。(給水タイムは試合時間に含まない)

4 塁審

- (1) 帯同審判制とし、必ず各チームより2名出すこと。
- (2) 第1試合の帯同審判員は試合開始予定時刻の30分前、第2試合以降は、前の試合が終了後、直ちに会場本部へ集合する。
~~<1日2試合> 第1試合=第2試合から。 第2試合=第1試合から。~~
~~<1日3試合> 第1試合 第2試合=第1試合から。~~
~~第3試合~~
~~<1日4試合> 第1試合 第2試合=第1試合から。~~
~~第3試合=第4試合から。 第4試合=第3試合から。~~

代表者会議資料
P21 参照

※ 決勝は、連盟審判員の3審制で行う。

※ 各試合の帯同審判員4名のうち1名は、BS0を担当する(決勝を除く)

5 試合開始時間

1試合目 8:30 2試合目 10:20 3試合目 12:10
4試合目 14:00

※ ただし、同一チームの試合が連続する場合は、次の試合を30~60分程度遅らせる。

※ 第2試合以降のチームは開始時刻の60分前までに会場に集合し大会本部へ到着を届け出ること。

- ※ 打順表の提出は、第一試合のチームは試合開始予定時刻の30分前までに提出する。
なお、第二試合以降のチームは前の試合の3回終了時まで提出し、攻守を決定する。
提出枚数は4部とし、控え選手もフルネームで記入する。その際、各チーム試合球を2球ずつ提出する。
- ※ 打順表提出の際に、監督（またはコーチ）は指導者資格証を提示すること。
打順表と登録名簿の照合後、会場責任者と審判員の立会いのもと速やかに攻守を決定する。

6 補助員について

- (1) 投球数をカウントするための補助員（20歳以上）を各チーム2名ずつ選出すること。
- (2) 第一試合のチームは開始予定時刻の30分前までに、第二試合以降のチームは前の試合の終了後直ちに会場本部に集合して打ち合わせをしてください。

<役割>

- ① 守備チームの補助員…投手の投球数をカウントして記録する。
 - ② 攻撃チームの補助員…カウントの補佐。
- ※ なお、攻守交代の際に役割も交代する。

7 その他の注意事項

- (1) ベンチ内での携帯マイクの使用は禁止する。メガホンは監督のみ使用を認める。
- (2) 礼儀に反するような行為はつつしむこと。（言動、鳴り物、携帯マイク等）
- (3) 抗議権を有する者は、監督か当該プレイヤーのいずれか1名。
- (4) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。ただし同一チームが2試合続く場合はこれにあらず。
- (5) ボールパーソンは各チームから2名出すこと。（登録選手以外又は大人でも良い）
- (6) シートノックは行わない。
- (7) 監督は、アピールや選手交代などをする時は、その身分を明らかにするために、グラウンドコートを脱いで申し出ること。（背番号の確認）
※監督のタイム及び攻撃のタイムは監督のみとし、コーチやその他の者が代理することはできない。また、選手が伝令として伝えることもできない。
- (8) ホームベースのサイズは一般社会人のサイズと同じものを使用する。
- (9) 試合前のアップ時は、フリーバッティング、ハーフバッティング、ティーバッティングを禁止する。
- (10) 各イニングの先頭打者とイニングの途中で投手が交代した後の先頭打者はその投手の準備投球が終了するまでネクストバッタースボックス内で待機し、球審の合図でバッターボックスへ向かうこと。
- (11) 攻守交代時に自チームの練習をベンチ前で見守ることができるが、プレイがかかる前に速やかにベンチへ入ること。ネクストバッタースボックス内の選手以外の者が投手の準備投球に合わせて素振りをするのを禁止する。
- (12) 投手の12秒及び20秒ルール（ピッチクロック）は、審判員が注意指導を行う。ただし、決勝戦はペナルティー等の規則を適用する。
※タイムを宣告してボールデッドとする。「タイム」の宣告にもかかわらず投手が投球した以降のプレイは無効とする。
※投手がボールを所持し、打者がバッタースボックスに入って投手に面したときに始まり、

投手が投球動作を開始したときに終わる。

- (13) 指名打者ルールを使用することができる。但し、二刀流選手を採用しない。(大谷ルール)
- (14) 試合会場で軟式野球ボール以外のボール等を使用した練習を禁止する。
- (15) 第1試合のアップについては、試合開始時刻の1時間前にグラウンドを利用できる。
但し、グラウンド整備により時間が前後する場合がある。
- (16) 4年生以下の投手のバッテリー間及び塁間の規定は採用しない。
- (17) 次のイニングに引き続き投げる投手は、ベンチ正面でのキャッチボールを禁止するが、ベンチ外野側角からポール方向のファウルテリトリーで軽いキャッチボールは認める。ブルペンの使用は従来通り。ストレッチ、ランニング等は攻守交代の間のみできる。

8 スポーツマンシップの徹底

野球にヤジは必要ありません。楽しい野球をするために「尊重・勇気・覚悟」をもって取り組みましょう

9 大会の中止及び順延について

- (1) 試合の有無については、試合前日の午後4時までに決定し、午後4時以降に各チームが
テレフォンサービスで確認してください。 テレフォンサービス ☎025-245-4189
※早起き野球と兼用のテレフォンサービスのため、最後まで音声を確認してください。
- (2) 順延の場合は、日程が決まり次第、連絡責任者に連絡します。
- (3) 予備日までに**準決勝・決勝が実施できなかった場合は、順位を決定しない。**